※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（建築都市工学系 建築システム専科）

教科	工業科	科目	建築都市工学実習	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	学校作成教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・建築都市工学の中でも主に建築システムの知識や技術について、実習を通して習得します。
・班員全員が協力し、責任を持って行うというチームワークにより、協力の態度を養い、定められた規律を守り、技術者に必要な資質を体験的に理解して身につけましょう。
・課題については期限内に正しく・美しく提出することを念頭に取り組むようにしましょう。

2　学習の到達目標

・建築システムに関する各分野における技術への興味・関心を高め、建築システム技術の広い視野と倫理観を養う。
・各分野における実験・実習方法について学び、理解する。
・同じグループの者と協力して作業を行い、協調性を養う他、積極的に発言することで、チームリーダーとして気持ちも身につける。
・３つの分野について作図・演習・実習などを行います。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築と都市工学に関する基礎的な知識・技能を身につけ、その技術の発展と環境・資源などと調和のあり方及び現代社会におけるその技術の意義や役割を理解している。	建築と都市工学に関する諸問題の適切な解決をめざし、視野を広げ、自ら考え、基礎的な知識・技能により適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。	各実習に興味・関心を持ち、主体的かつ協働的にその改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的・実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	CAD実習	●建築 CAD 図面の作図 柱・壁・間仕切図 通り芯・寸法・通り芯記号図 壁と窓詳細図 階段平面図	a:CADシステムの概要・特色，種類，活用例を理解し操作ができる。 b:CADシステムを使用し、図面をトレースすることができる。 c:CADシステムを使用し、様々な図面を描くことができる。	ワークシート	ワークシート 実習　課題	実習観察 振り返りシート
	計画実習	木造住宅の設計 （エスキス、面積表） （設計主旨） （配置図兼平面図） （立面図、断面図）	a:　住宅設計の基礎的知識と設計上のプランニングについての理解している。 b:住宅設計のプランニング過程においてエスキスを描くことができる。 c:設計主旨を読み取り、住宅の設計をすることができる。	ワークシート	ワークシート 実習　課題	実習観察 振り返りシート
	測量実習	水準測量(昇降式) 水準測量(器高式) トラバース測量1(角測量) トラバース測量2(距離測量) トラバース測量3(多角測量)	a:　測量機器の操作方法と測量計算について理解している。 b:グループで協力して各種計算、測定に取り組むことができる。 c:　各種計算と実習による測定誤差に関して考察することができる。	ワークシート	ワークシート 実習　課題	実習観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度